



shaping tomorrow with you

2016年度 上期決算説明会

2016年10月26日

富士通フロンテック株式会社

代表取締役社長 下島 文明

1. 2016年度 上期決算概要

連結経営成績



[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2016年度 上期	514	29	21	15	62.44円
2015年度 上期	557	20	19	13	53.67円
前年同期比	△43	+9	+2	+2	
前回公表値	526	12	7	5	20.86円
前回公表比	△12	+17	+14	+10	

海外売上高 () 内は売上高比率 [億円]

2016年度上期	123 (23.8%)	(内、為替影響△21)
2015年度上期	168 (30.1%)	

	期中平均為替レート (1USD=)
2016年度 上期	105円
2015年度 上期	122円

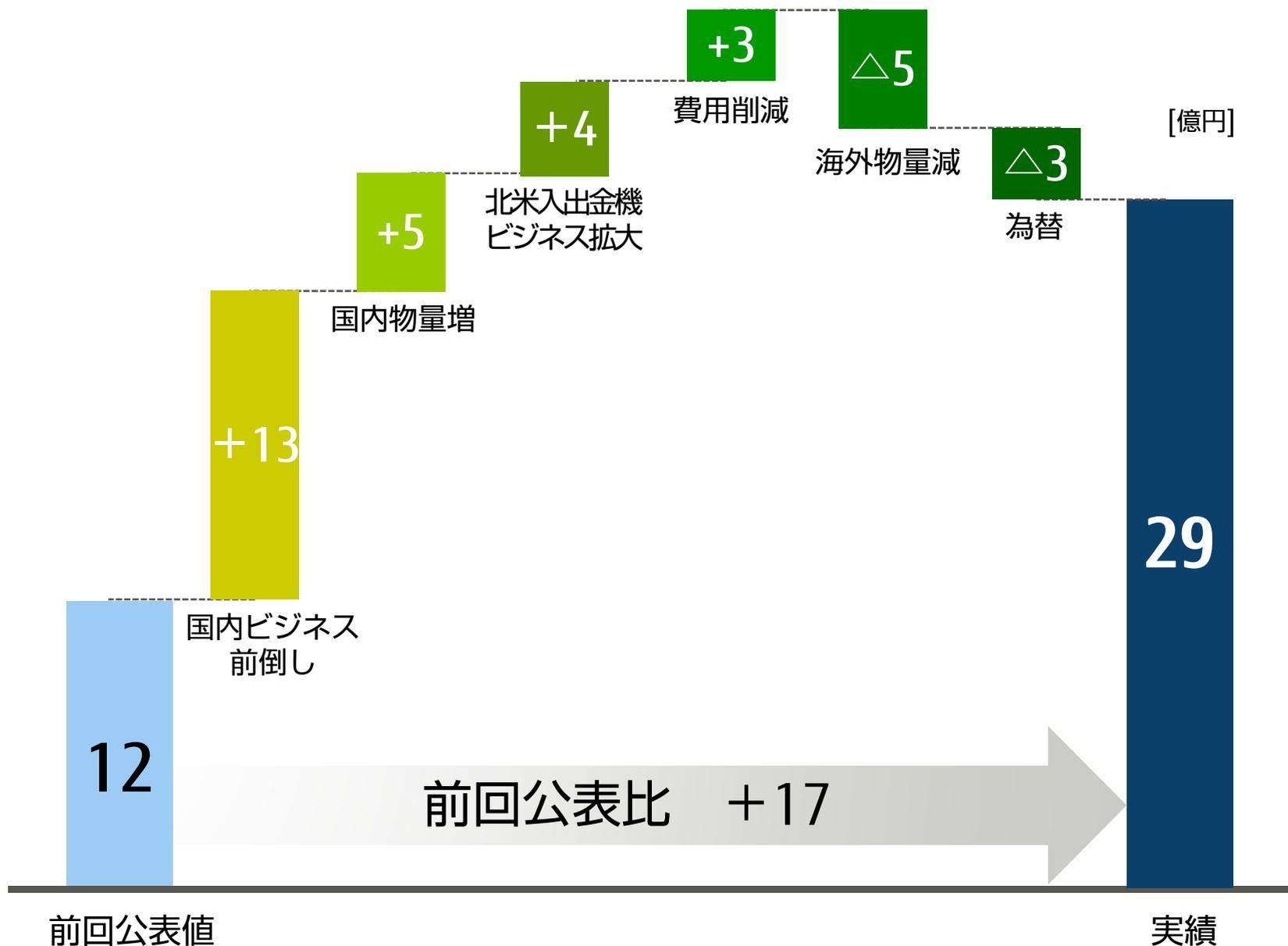
セグメント別売上高・営業利益



[億円]

摘要	2015年度上期		2016年度上期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	275	13	237	9	△38	△4
サービスインテグレーション ビジネス	143	20	148	18	+5	△2
パブリックソリューション ビジネス	80	2	85	10	+5	+8
フロントソリューション ビジネス	58	△8	43	△1	△15	+7
その他ビジネス/ 全社費用（戦略投資含む）	1	△7	1	△7	±0	±0
計	557	20	514	29	△43	+9

営業利益の前回公表比の主な増減要因



地域別売上高



[億円]

摘要	2015年度上期	2016年度上期	増減額
国内	389	391	+2
海外 ()内は売上高比率	168 (30.1%)	123 (23.8%)	△45※
米州	44	79	+35
欧州	53	25	△28
アジア	70	19	△51
【中国】	【52】	【9】	【△43】
その他	1	0	△1
計	557	514	△43

※為替影響△21億

連結財政状態、キャッシュ・フロー

■ 連結財政状態

[億円]

摘要	総資産	負債	純資産	自己資本比率
2016年度上期	712	299	413	57.6%
2015年度末	728	324	404	55.1%
増減額	△16	△25	+9	

■ 連結キャッシュ・フロー

※2015年度より無借金経営を継続

[億円]

摘要	営業C/F A	投資C/F B	円-C/F A+B	財務C/F C	C/F A+B+C	現金及び 現金同等物の 期末残高
2016年度 上期	39	△16	23	△8	15	122
2015年度 上期	49	△13	36	△22 ※2	14	95
増減額	△10 ※1	△3	△13	+14	+1	+27

※1 円高影響による回収額の減少

※2 借入金の返済

2. 事業概況

中期事業計画（2016年度～）

➤ 中期戦略テーマ（B to B to Front）

海外ビジネスの領域拡大

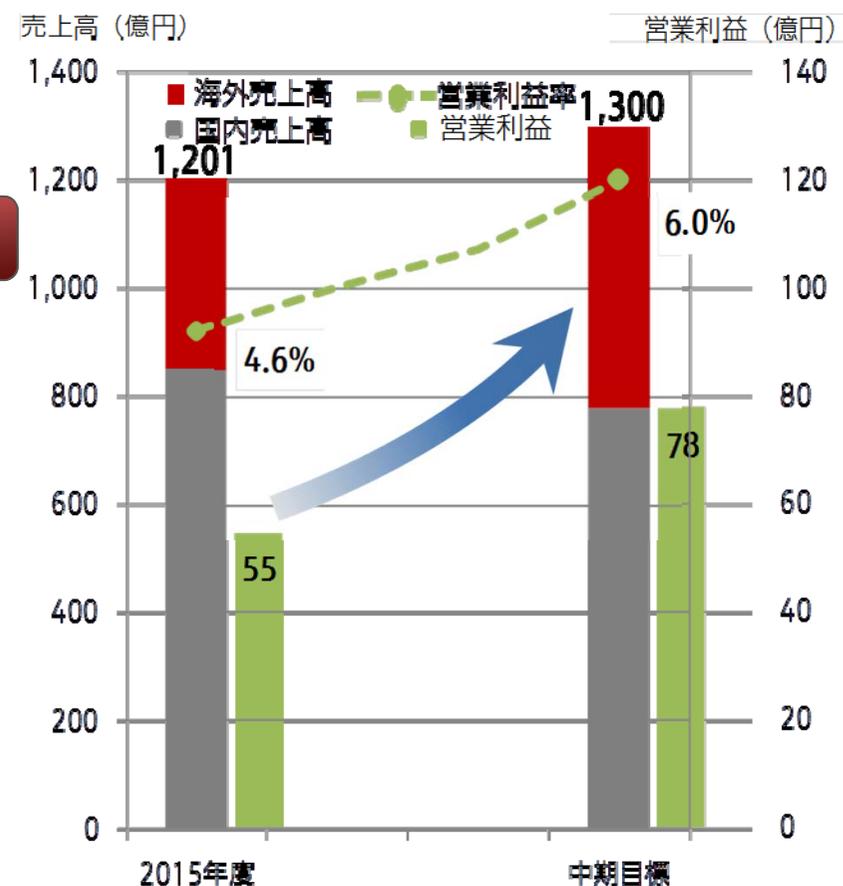
国内ビジネスの変革推進

フロントテクノロジーの強化・成長

事業効率化の更なる推進～プロセス革新～

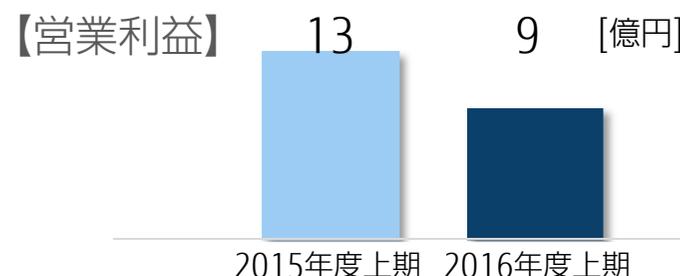
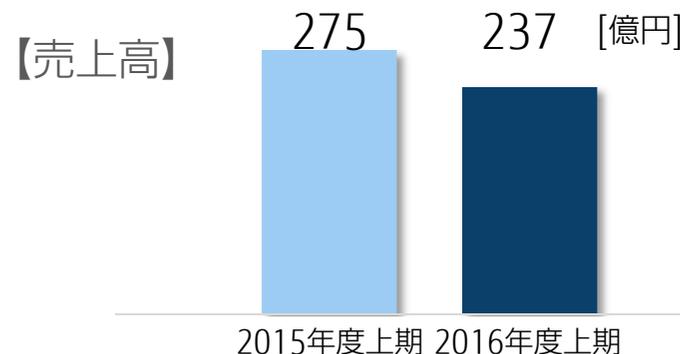
➤ 業績目標

	2015年度実績	中期事業目標
連結売上高	1,201億円	1,300億円
営業利益	55億円	78億円
営業利益率	4.6%	6.0%
海外売上高比率	29.3%	40%



上期のビジネス状況

- 営業店端末が大口更新需要により伸長
- 国内ATMは前年度で大口更新需要が一巡も計画どおりに推移
- メカコンポーネントビジネス
 - 中国市場：一部延伸などにより減少
 - 米国市場：流通店舗バックオフィスの入出金機向けビジネスの本格展開開始により大きく伸長



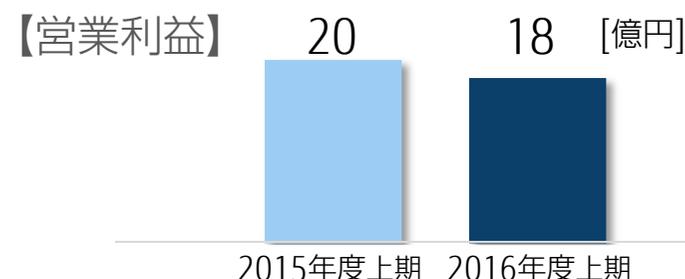
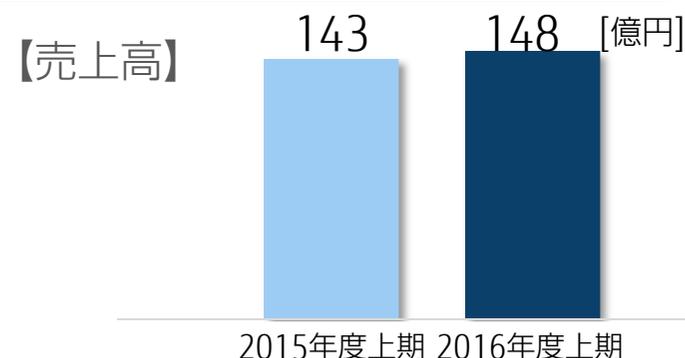
下期の施策・見通し

- 国内営業店端末、ATM需要への着実な対応
- 軽量化店舗システムの積極的な提案
- 米国入出金機向けビジネスの更なる拡大。ソリューションビジネス化検討
- グローバル市場向け次期小型BRUの展開開始（SCO、小型ATM）

サービスインテグレーションビジネス

上期のビジネス状況

- 国内ATMの大口更新需要の一巡に伴いソフトウェアパッケージが減少
- 金融、産業分野大型SI案件が堅調に推移
- 店舗向けATMサービスが堅調。キッティングサービスを中心にLCMサービスが伸長
- 店舗向けのマルチベンダ保守サポートが好調
大規模量販店向けに新保守スキームを提供開始

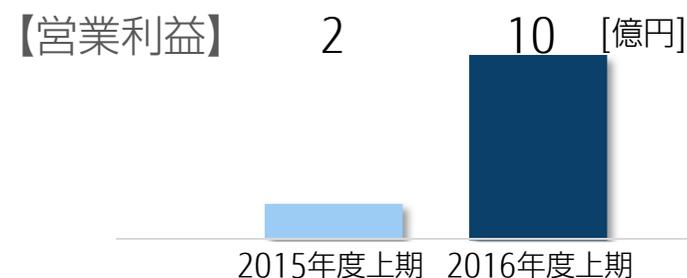
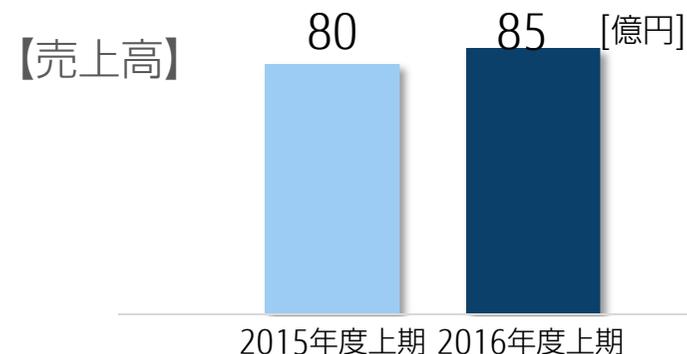


下期の施策・見通し

- りそな銀行様との海外発行カード対応ATMサービスの展開開始
- 営業店業務改革ソリューション（クイックカウンター等）ビジネスの拡大
- 現金管理運用サービスの機能拡充（POS、会計連携等）と販路拡大策の推進
- ソリューション+サービスのシナジーを活かしたSI / LCMビジネス拡大

上期のビジネス状況

- 中古車せりシステムのクラウドセンター集約化推進
- 病院向け医療統合サービスソリューションの体系化推進（外来サービス、医事会計他）
- 新型表示システムによる大型表示装置のリプレイス展開
- トータリゼータ関連装置の所要前進

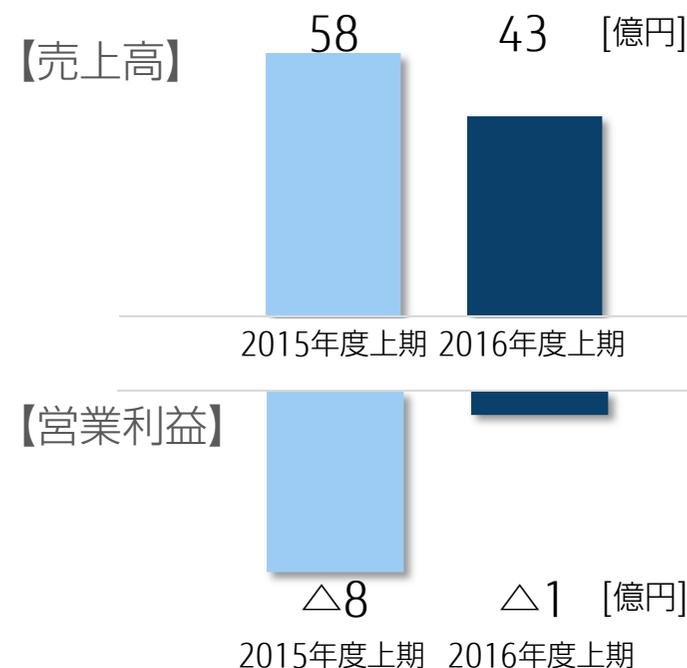


下期の施策・見通し

- 公営競技キャッシュレス投票・ギフト券管理サーバ統合、クラウド化
- スタジアムソリューションの開発・展開（映像装置、入退場制御他）
- トータリゼータ8次端末、toto端末の開発推進
- インバウンド対応屋外設置型デジタルサイネージの開発推進

上期のビジネス状況

- 前年度に実施した国内・アジア向けPOSの商流変更の影響により減収／損益改善
- RFIDビジネスが国内外で好調に推移
- 手のひら静脈認証システムは、地方自治体向けを中心に国内外で増加
- 小型、高性能化した静脈センサーおよび組み込み機器用認証ボードをリリース



下期の施策・見通し

- RFID、手のひら静脈認証が引き続き好調に推移
- センサー（RFID、ビーコン）プラットフォームの開発推進
- 手のひら静脈認証のビジネス強化（クラウド化、サービス化）

3. 2016年度 通期計画概要

連結業績予想



- ・ 為替影響および中国・欧州市場向けビジネスの減
- ・ 米国流通市場向けビジネスの拡大
- ・ コストダウンおよび費用効率化の推進

[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2016年度計画	1,125	62	49	34	141.86円
2015年度	1,201	55	47	33	135.93円
増減額	△76	+7	+2	+1	
前回公表比	△10	+5	±0	±0	

	期中平均為替レート (1USD=)
2016年度想定※	100円
2015年度	120円

※第3四半期以降想定レート

セグメント別売上高・営業利益予想



[億円]

摘要	2015年度		2016年度		前年度比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グローバルプロダクト ビジネス	573	39	518	27	△55	△12
サービスインテグレーション ビジネス	283	35	282	35	△1	±0
パブリックソリューション ビジネス	182	13	204	16	+22	+3
フロントソリューション ビジネス	162	△12	120	4	△42	+16
その他ビジネス/ 全社費用	1	△20	1	△20	±0	±0
計	1,201	55	1,125	62	△76	+7

地域別売上高予想



[億円]

摘要	2015年度	2016年度	増減額
国内	849	815	△34
海外	352	365	+13
米州	96	181	+85
欧州	123	83	△40
アジア	132	101	△31
【中国】	【97】	【76】	【△21】
その他	1	0	△1
為替影響	-	△55	△55
合計	1,201	1,125	△76

4. トピックス

1. 北米入出金機ビジネスへの展開
2. 中国ビジネスの状況
3. IoTセンサーソリューションの強化
4. 手のひら静脈認証ビジネスの拡大

北米入出金機ビジネスへの展開

～ 当社の強みであるキャッシュハンドリング技術を活かした
ビジネス領域の拡大 ～

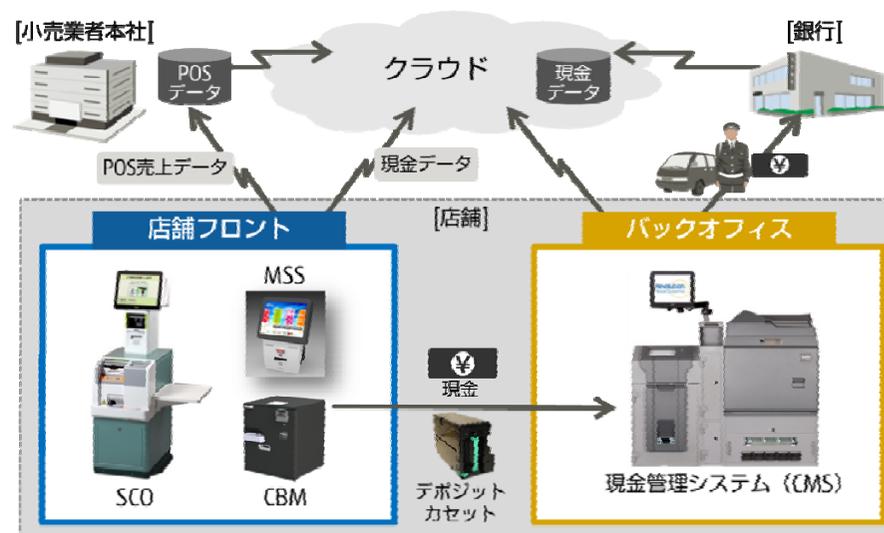
- 米国流通店舗
- 現金管理コスト見直しのニーズ
- セルフサービス・ソリューション導入への関心の高さ
⇒ 現金管理ソリューションの展開を開始

上期のビジネス状況

- 店舗フロント：Cash Box Module (CBM)、Micro Self Service (MSS) の開発による製品ポートフォリオの拡充
- バックオフィス：入出金機向けビジネスの展開開始

今後の展開について

- データと現金の一元管理により自動化、効率化を推進
⇒ 店舗フロント+バックオフィスの現金管理ソリューションを展開



中国ATM市場および当社ビジネスの状況について

- 当社はATM向けを中心にメカコンポーネントビジネスを展開
- 近年の中国経済の発展により市場が急速に拡大。
さらに記番号対応の必須化などにより、当社ビジネスも拡大
- 2015年度から状況に変化
 - 国産化の推進により価格競争が激化
 - 中国経済の先行き不透明感から銀行が設備投資を抑制
⇒競争の激化等により2016年度中国向け売上高は減少見込み

今後の取組みについて

- 一部延伸したATM向けメカモジュールの展開促進
- 地方農村部向けの小型ATM展開に注力
- 高速入金機、TCRおよび両替機などATM向け以外の領域へ拡大
- 公共交通（地下鉄）の券売機向けビジネスの着実な推進
（現在60路線で稼働中）

IoTセンサーソリューションの強化

概要

- 富士通クラウド上で、センサープラットフォームをご提供。短期間かつ低コストでRFID、ビーコン、各種センサーの情報を業務システムで活用した新たな付加価値実現をサポート。

実現できる主なこと

- モノの管理
(物品、文書、ユニフォーム等)
- ヒトの管理
(顧客、従業員、作業員等)
- 情報通知
(商品、位置、施設、割引券等)

導入メリット

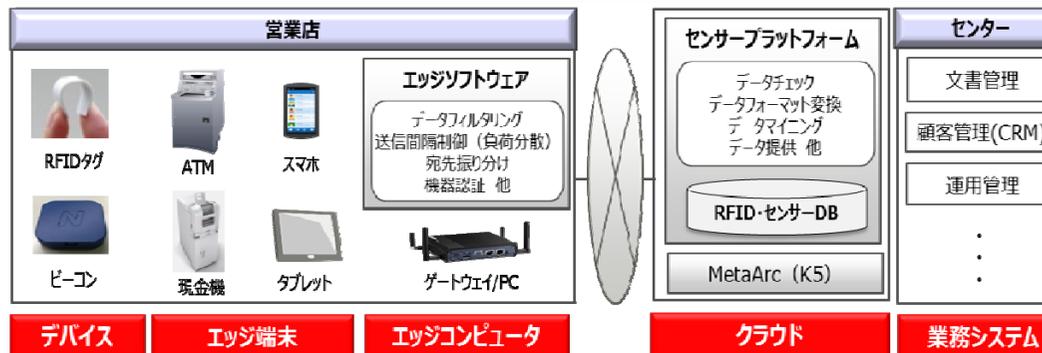
- センサープラットフォームの利用により、容易にRFIDやセンサーとの接続および情報収集が可能
- エッジコンピュータによりクラウド側の負荷分散やエッジ端末の処理向上（オフロード）が可能
- スマホ連携（Push配信）による顧客プレゼンス向上

実現イメージ

金融機関での活用例



システム構成例



手のひら静脈認証ビジネスの拡大

概要

- 従来の手のひら静脈認証ビジネスを発展させ、富士通クラウド上で統合認証サービスをご提供。
生体、印鑑、個人番号カード、FIDO等、様々な認証（本人確認）手段をトータルにサポート。

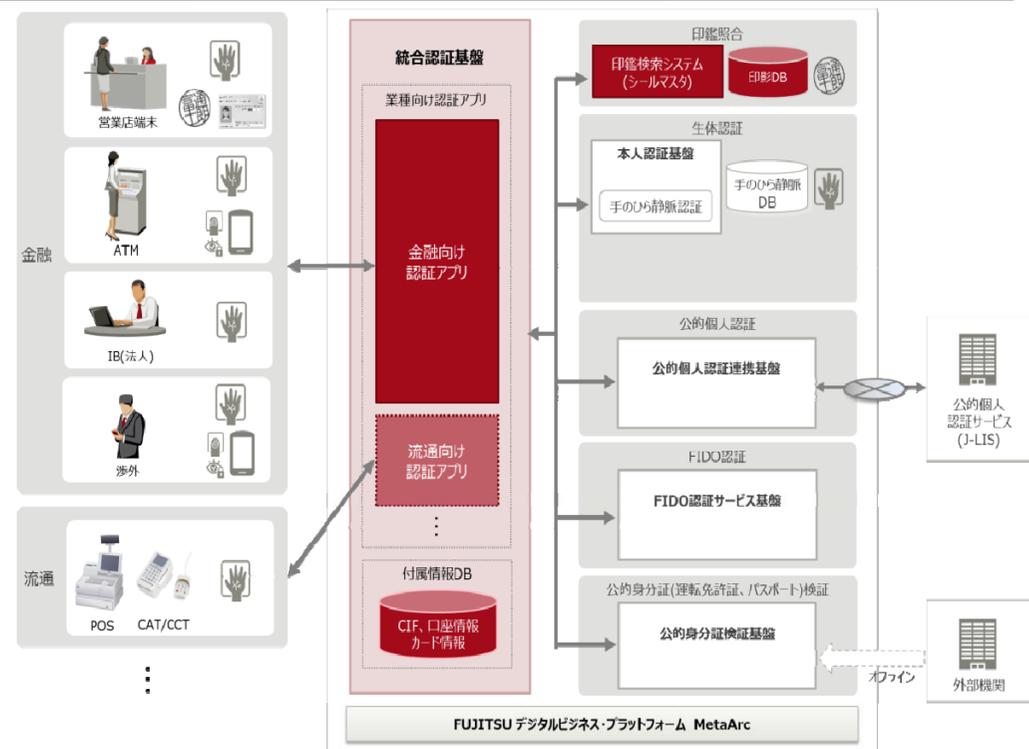
実現できる主なこと

- 安全・安心な認証
(手のひら認証、FIDO認証、公的個人認証)
- 高い利便性
(手ぶら認証、スマホ認証)
- 利用シーンに合わせた柔軟な対応
(シーン毎の使い分け、認証の組み合わせ)

導入メリット

- FIDOなど多様化する認証手段を一括して管理することが可能
- スピーディな導入とお客様での生体情報の管理・運用が不要
- 物による認証(印鑑、カード等)から生体認証へのスムーズな移行が可能

実現イメージ

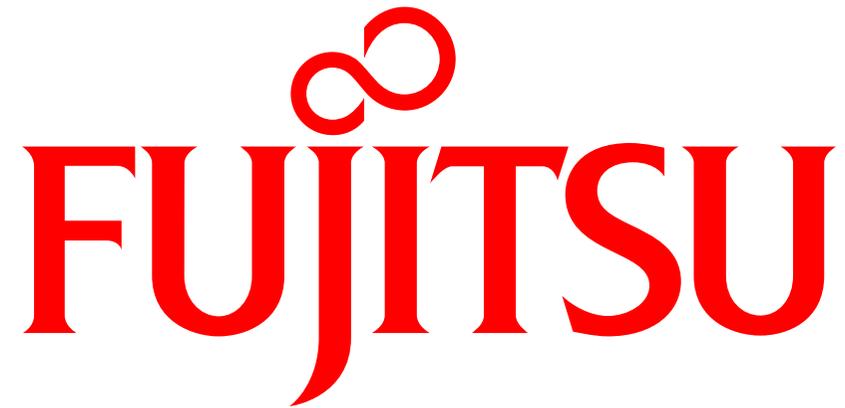


<見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります）を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

<商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



shaping tomorrow with you